

◎ 今こそ考えたい、企業の与信管理能力



御社が「攻めの企業」なら この問題は解けるはずだ。

「攻めの経営」「攻めの営業」には、リスク管理が必要不可欠。…さて、どうするか。

Biz Life Style Pick up >>>

今日の会議でぜひ話題に！ ビジネス実務与信管理検定試験 (2級)練習問題

設問

継続販売先A社に信用不安が発生した。回収条件は、月末締め翌月末起算90日手形である。回収リスクを軽減する対応策として、最も適切でないものを次の選択肢の中から選びなさい。

解答選択肢

- A 手形の期日を変更し、90日から60日にするなど回収期間を短縮する。
- B 受注を断るなどして納入量を減少させ、売掛債権を減少させる。
- C 債権回収に有利な条項を含んだ売買基本契約をA社と締結する。
- D 単名手形からA社の子会社であるB社振出しの裏書譲渡手形で回収する。

●答は、この紙面の左下で

景気が潮目を迎えていると言われる昨今、従来型の「我慢の経営」から攻勢に転じようとする企業は少なくない。しかし、企業にとってのリスクとは、景気の浮沈に關係なく捉えるべきものだ。なぜなら、市場で競争原理が働く以上、企業の倒産は決してなくなることはないからだ。気を付けるべきは、取引先の倒産で自社がダメージを被ること。黒字倒産や連鎖倒産の可能性まで考慮すると、取引先の与信情報は逐次把握しておく必要がある。

与信管理は本来、極めて高度な知識を必要とする業務だ。たとえば財務分析なら税理士や会計士と、契約や回収にまつわる領域では弁護士と話ができるレベルの知識が求められる。しかし、それほど多くのスタッフを今すぐに抱えることは容易ではない。与信判断の作業そのものは、外部指標を用いれば効率化も可能だが、果たしてそれで

リスクは突然表面化するもの
普段からの与信管理が重要

いいのだろうか？
たとえば営業スタッフにぜひ挑戦させてみたい資格

与信管理業務には、専門性の高いスタッフの存在が求められるが、本来は「担当を置けばよい」というものではない。

営業現場の担当者人ひとりにまで浸透させて初めてリスクコントロールが機能するのだ。となれば、経営者としては、企業全体に与信管理の意識を植え付ける必要があると言えるだろう。

リスク管理情報研究所が実施する「ビジネス実務与信管理検定試験」は、その名のとおり与信管理の基本となる実践的な知識を確認できる試験だ。

同検定は、インターネットに接続されたPCさえあれば、いつでも無料で受験できる。3級試験の場合、試験は4択方式のみで、全40問の問題に対して7割以上の正答率、つまり28問の正答で合格となるので、心理的なハードルもさほど高くはないはずだ。

ビジネスパーソンとして業務上理解しておくべき基礎的な知識、リスクの発見と評価能力、一般的なリスクマネジメントの手法についての理解を問う試験内容で、1～3年程度の業務経験を有する審査部門担当者及び一般の社会人の方を対象とした資格試験。

左は、ビジネス実務与信管理検定試験の出題例だ。正解できるかどうかクイズ感覚で試してみれば、問題そのものが日常的に持つべき視点ともなっていることがお分かりのはずだ。まずは会議の席上で役員や管理職と受験奨励の制度づくりを相談してみることをおすすめしたい。

その上には2級、さらにアナリストやコンサルクラスのスキルが身に付く「与信管理士認定試験」という道もあり、スタッフのモチベーションも維持しやすい。何より、日々の業務と直結する分野であるため、勉強も進めやすい。事実、自社の営業部門などに挑戦させる経営者も多いため。

ビジネス実務与信管理検定試験

与信管理の実務技能を認定する技能検定試験。ビジネスパーソンとして業務上理解しておくべき基礎的な与信管理知識、リスクの発見と評価能力、一般的なリスクマネジメントの手法についての理解を問う試験内容で、1～3年程度の業務経験を有する審査部門担当者及び一般の社会人の方を対象とした資格試験。

●試験形式：CBT(Computer Based Testing)方式

インターネットに接続されたPC端末があれば、いつでもどこでも受験可

ビジネス実務与信管理検定試験3級

- 出題数：40問(4択方式)
- 試験時間：30分
- 受験料：無料
- 目安：営業その他の担当者＝業務経験1年で合格。3年目には90点以上取得。

▲ まずはここから

ビジネス実務与信管理検定試験2級

- 出題数：50問(4択方式、一部記述問題)
- 試験時間：60分
- 受験料：3,000円(税別)
- 目安：与信管理の担当者＝業務経験1年で合格。3年目には90点以上取得/営業その他の担当者＝業務経験3年で合格。5年目には90点以上取得。

与信管理士認定試験

審査部門において業務上必要な与信管理実務知識をビジネス全般にわたって有しており、その知識に基づいて多面的な観点から高度なリスクの評価を行い、多様なリスクマネジメントの方策の立案と遂行ができる能力を問う試験。

●試験方式：CBT方式(4択方式) 全国主要都市での会場から選択可(受験可能な試験日は申込時期などで変化)

●試験科目：①与信管理の基礎/②経理・財務分析/③債権保全・回収に関する法務

- 出題数：①40問 ②29問 ③40問
- 試験時間：①60分 ②60分 ③60分
- 受験料：各科目6,000円(税別)
- 合格基準：100点満点として70点以上
- 資格条件：3科目合格

各科目で受験免除となる資格保有者

- ②：公認会計士(会計士補含む)、税理士、中小企業診断士、日商簿記1級合格者
- ③：弁護士、司法書士、ビジネス実務法務1級合格者

●出題の範囲と内容

- ①与信管理の基礎 与信管理の目的、危険な取引、商業登記簿・不動産登記の見方、信用不安情報、社内ルールの設定、与信限度制度の目的など
- ②経理・財務分析 決算書と財務諸表の見方、財務指導分析、キャッシュフロー分析、粉飾決算の見分け方、定性情報と決算書の比較・危険な兆候など
- ③債権保全・回収に関する法務 基本契約条項の理解、担保権の種類、債権回収の準備、手形ジャンプへの対応、支払い督促・交渉による保全、倒産手続など



リスク管理情報研究所 東京都渋谷区桜丘町8-18
TEL.03-3231-0272

◎ ビジネス実務与信管理検定試験(3級)は受験料無料。詳しくはWEBサイトで。

与信試験

検索

www.rmiri.co.jp